UNI-PEX

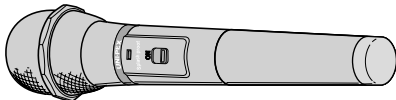
300MHz帯・スピーチタイプ

防滴ワイヤレスマイク

WM-3400

IEC60529　IP65

[JIS C 0920 保護等級5（防噴流形）、及び6（耐塵形）]

取扱説明書（保証書付）

このたびは、防滴ワイヤレスマイクをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

医用電気機器に近づけない

（手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

電池は充電・分解ショートしない

電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因になります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池は極性（プラス＋とマイナス－）を正しく入れる
間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

充電式電池は使わない
発熱、発火の原因になります。また、機器の正常な動作を保証できません。

防水・防塵機能について

■取り扱い上のお願い

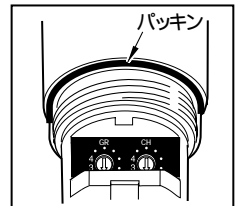
防水・防塵性能について

本機はIEC60529 **IP65**※1に適合しています。
雨やある程度の水の噴流がかかるような状況でも使用できる防噴流形のワイヤレスマイクです。ただし、水中や強い水圧の噴流では内部に水が入ることがありますので使用しないでください。

また、防塵構造（風防ネット部を除く）のため、粉塵なども内部に侵入することはありません。

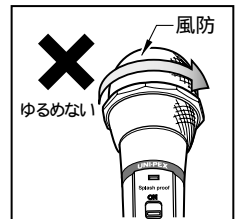
※1　IEC60529 **IP65**とは.....
●外来固形物に対する保護の度合：**6**「耐塵形（塵挨に対する完全な保護)」
●水の侵入に対する保護の度合：**5**「防噴流形（あらゆる方向からの水の噴流に対する保護）」

パッキンに損傷や異常がないか確認する

電池の交換や周波数の設定などで電池ケースをはずしたときはパッキンに損傷や劣化などの異常がないか確認してください。パッキンが不完全な状態で使用しますと、雨などの水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。パッキンの交換については販売店などにご相談ください。（右図参照）

電池ケースはしっかり締め付ける

電池の交換や周波数の設定などで電池ケースをはずしたときは電池ケースを隙間がなくなるまで締め付けてください。電池ケースの締付けが充分でないと、雨などの水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。

電池ケース以外ははずさない、分解しない

風防部を回しますと取り付けがゆるみ、雨などの水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。風防部は絶対にゆるめたり、はずしたりしないでください。

水に濡れた後には

ワイヤレスマイクが雨などで濡れたときは、本体表面の水分をよく拭き取って充分乾燥させて保管してください。特に、風防内部にあるウレタンなどは水分を含んだまま通気の悪い場所に保管しますと、劣化の原因になりますのでご注意ください。

上手な使いかた

■取り扱い上のお願い

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当てたりしないでください。

■使用上のお願い

マイクと口との距離

マイクは口から5〜10 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイクを口に近づけると低音が強調されます。

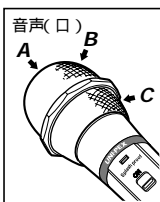
ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしぼるか、マイクの使用位置を移動してください。

強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生します。

マイクの方向性

本機は、単一指向性マイクのため、***A*** の方向の音声には感度がよく、***BC*** の方向は ***A*** の方向に比べ感度が1/2〜1/5 になります。よい音質で感度よく使用するためには、音声(口)が前面 ***A*** の方向にくるようにしてください。

マイク部に水滴がついたら

水滴がマイク部のネットに溜まりますと著しい音量不足になりますので、吸水性の良い布などで拭き取ってください。

乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで機器が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

使用後は

電源スイッチを切ってください。また、長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

雑音が入るときは

- ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。ただしワイヤレスアンテナから2ｍ(送信出力6mW時は3m）以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- 受信機やワイヤレスアンテナはディジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください。(5m以上)

マイクどうしは、50 cm以上離して使用する

- 2本以上を50cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。
- 金属などが、使用しているマイクの前面ネットに接触すると、雑音が発生する場合があります。

使用電池について

- 高性能乾電池(充電出来ないタイプ）で初期電圧値が1.65Vを越える物はお使い頂けません。製品の内部に保護回路が組み込まれており、電源も入らない状態となりますのでご注意下さい。
- 充電式電池（ニカド電池、ニッケル水素電池等）のご使用は、機器の正常な動作を保証出来ませんので、ご使用はお控え下さい。
- ご使用頂けます電池は、マンガン乾電池（黒･赤）またはアルカリ乾電池です。

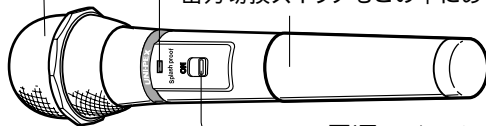
各部の名称と説明

電源表示灯（赤）

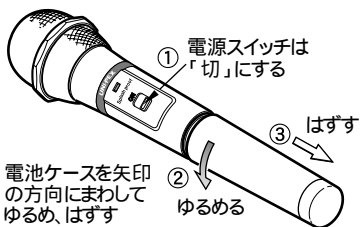
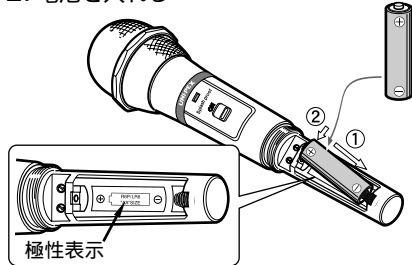
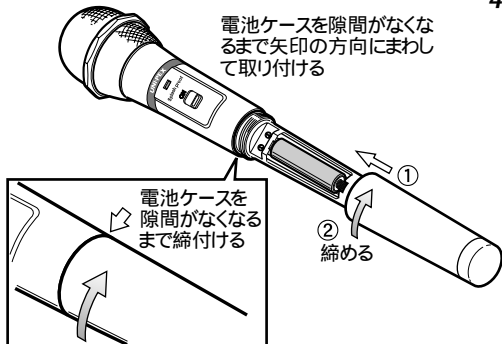
電源スイッチを入れますと点灯します。
・電源表示灯が遅い点滅または消灯する場合は、使用している乾電池が消耗しています。新品の乾電池に交換してください。
・電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(5ページの周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。電源を切り再度周波数設定をしてください。

マイク部

電池ケース

ふたをはずし、内部の極性表示に従って電池を入れてください。また、グループ／チャンネル設定スイッチと送信出力切換スイッチもこの中にあります。

電源スイッチ

乾電池の入れ方

1. **電池ケースをはずす**

2. **電池を入れる**

3. **電池ケースを閉める**

電池ケースを隙間がなくなるまで矢印の方向にまわして取り付ける

電池ケースを隙間がなくなるまで締付ける

① ② 締める

お願い

電池を交換または、入れるときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

⚠注意

●濡れたまま電池ケースをはずさない
・水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。

●電池挿入後は、電池ケースを隙間がなくなるまで締付ける
・電池ケースの締付けが充分でないと、雨などの水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。

●使用電池について
・高性能乾電池(充電出来ないタイプ）で初期電圧値が1.65Vを越える物はお使い頂けません。製品の内部に保護回路が組み込まれており、電源も入らない状態となりますのでご注意下さい。
・充電式電池（ニカド電池、ニッケル水素電池等）のご使用は、機器の正常な動作を保証出来ませんので、ご使用はお控え下さい。
・ご使用頂けます電池は、マンガン乾電池（黒・赤）またはアルカリ乾電池です。

4. **電源スイッチを入れ乾電池の確認をする**

電源表示灯が点灯すれば乾電池は正常です。

電源スイッチを「ON」にする

周波数の設定について

■グループについて

●同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。
(グループ1〜4の中から1つのグループを選びます。)

・グループ1〜3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。

・グループ4は1波使用できます。

●受信周波数表

周波数（MHz）	グループ／チャンネル番号			
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

周波数設定のしかた

■周波数の設定

電池ケースをはずしますと内部にグループ／チャンネル設定スイッチがあります。
電源スイッチを必ず「切」にしてから、電池ケースをはずしてください。

電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯すれば設定したグループ／チャンネルは正常です。
電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(5ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。電源スイッチを切り再度周波数設定をしてください。

⚠注意	**濡れたまま電池ケースをはずさない** ・水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。 **設定後は、電池ケースを隙間がなくなるまで締付ける** ・電池ケースの締付けが充分でないと、雨などの水滴が内部に入り故障や誤動作の原因になります。

定格

電波形式	30KF3E
送信周波数	322.025 MHz ～ 322.150 MHz、 322.250 MHz ～ 322.400 MHz (25 kHz間隔　13波)　中1波
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調
空中線電力	1 mW
アンテナ	内蔵アンテナ
変調感度	±2.25 kHzFM (94 dBSPL　1kHzにて)
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
周波数特性	100 Hz ～ 7 kHz (1 kHz基準　50 μs エンファシス)
最大入力音圧	120 dBSPL
入力等価雑音	36 dBSPL以下 (Aカーブ)
使用電池	単三形乾電池 R6PU（黒）× 1
消費電流	45 mA (1.5Vにて)
電池寿命	約16時間［R6PU（黒）使用時］(常温連続使用にて)
使用温度範囲	0°C ～ ＋40°C
寸法	φ54mm(最大径)×231mm(長さ)
質量	約180 g (乾電池含む)
外装	ストーンシルバー色樹脂 (マンセルN4.5近似色)
防水性能	IEC 60529※2 IPX5（JIS C 0920 保護等級 5［防噴流形］）
防塵性能	IEC 60529※2 IP6X（JIS C 0920 保護等級 6［耐塵形］）　風防ネット部除く
付属品	取扱説明書（保証書付）1、チャンネル設定用ドライバー 1、マイクホルダー 1、 R6PU(単三形)乾電池 1、ソフトケース 1、 チャンネル表示ラベル 1

※2 IEC規格「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」

外観寸法図 (単位:mm)

RKTWM3400-HO-5